

国際シンポジウム開催と後援のお知らせ

「環境因子、特に遺伝毒性発がん物質の閾値：安全と安心の接点をめざして」

MMS 研究会
会長 浅野哲秀

拝啓、会員皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、MMS 研究会は来る3月15日(水)、16日(木)神戸国際会議場で開催されます国際シンポジウム「環境因子、特に遺伝毒性発がん物質の閾値：安全と安心の接点をめざして」を後援いたします。

この閾値に関する国際シンポジウムでは、世界の最先端の研究内容が発表・討論されることが期待され、遺伝毒性、発ガン性などの分野に従事する研究者にとって必須の講演会であると考えております。今回の後援に際して、MMS 研究会会員の皆様には MMS 会員特別参加費が適用されることが決まりました。JEMS ホームページや開催案内ポスターでは事前登録参加費が15000円、当日参加が18000円とアナウンスされていますが、**MMS 会員には特別割引事前登録参加費 12000円が適用されます。** 下記登録方法にしたがい、事前登録を済ませた上、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

一人でも多くの会員皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

「環境因子、特に遺伝毒性発がん物質の閾値：安全と安心の接点をめざして」

日時：2005年3月15日(水)～16日(木)

場所：神戸国際会議場(神戸市、ポートアイランド内)

(<http://www.kcva.or.jp/kcc/icck/>)

交通：神戸市営ポートライナー市民広場前駅下車

MMS 会員参加費 12500円(事務取扱手数料500円を含みます)

(事務取扱手数料500円は一般事前登録の場合も同額必要になります)

MMS 会員の登録方法

登録ホームページ<http://www.pac.ne.jp/tetec> へアクセスし、画面左下にあるMMS研究会・BMS研究会会員用ボタンをクリックしてください

次に、登録画面で word または pdf 書類をダウンロードし必要事項を記入後、email(登録書類を添付)またはファックスで事前登録事務局へお送りください。後日、コンビニエンスストア用の振込用紙が郵送されます。(アドレスおよびファックス番号は画面を参照ください)

MMS 会員特別参加費の申し込み期限は **2月15日**とします。以後は特別割引が適用されませんのでご注意ください。(参加費振込期限は2月末日です)

以下のページはプログラムの概要です。(1月18日現在の内容ですが、変更される場合があります)

国際シンポジウム

「環境因子、特に遺伝毒性発がん物質の閾値：安全と安心の接点をめざして」

【3月15日】

10：20 開会の辞 林 真（国立衛研）

10：30 - 12：30 シンポジウム 1

座長：福島昭治（大阪市立大学）

S1-1 西川秋佳（国立医薬品食品衛生研究所病理部）

“発がん性における遺伝毒性の生物学的意義（仮）”

S1-2 福島昭治（大阪市立大学大学院医学研究科都市環境病理学）

“発がん物質の閾値の存在”

S1-3 Gary M. Williams（New York Medical College, USA）

“未定”

12：40 - 13：50 ランチョンセミナー I

14：00 - 16：00 シンポジウム 2

座長：林 真（国立衛研）

S2-1 祖父尼俊雄（元国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター）

“DNA直接作用変異原の閾値”

S2-2 林 真（国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター）

“未定”

S2-3 Jim. M. Parry（University of Wales, Swansea, UK）

“未定”

16：20 - 17：40 シンポジウム 3

座長：北川知行（癌研究会癌研究所）

S3-1 寺田雅昭（内閣府 食品安全委員会）

“食品安全委員会の役割と機能”

S3-2 林 裕造（NPO法人食品保健科学情報交流協議会）

“遺伝毒性発がん物質の閾値問題とリスクコミュニケーション”

18：00 - 20：00 懇親会

【3月16日】

9:00 - 10:20 シンポジウム 4

座長:若林敬二 (国立がんセンター研究所)

S4-1 島田義也 (独立行政法人放射線医学総合研究所)

“放射線とエチルニトロソウレアの複合影響の線量依存性”

S4-2 市場正良 (佐賀大学医学部社会医学講座)

“白血球 DNA 付加体による発がん物質暴露評価”

10:40 - 12:00 シンポジウム 5

座長:祖父尼 俊雄 (元国立衛研)

S5-1 Veronique Thybaud (asnofi-aventis, France)

“未定”

S5-2 David Kirkland (Covance Laboratories Ltd., UK)

“未定”

S5-3 長尾美奈子 (共立薬科大学)

“遺伝毒性の in vivo における impact を考える(仮)”

12:10 - 13:20 ランチョンセミナー II

13:30 - 16:30 シンポジウム 6

座長:津田洋幸 (名古屋市立大学)

S6-1 北川知行 (財団法人癌研究会癌研究所)

“がん原因子の作用の多様性と閾値の問題”

S6-2 神田敏子 (全国消費者団体連合会事務局長)

“未定”

S6-3 伏見 環 (厚生労働省医薬食品局基準審査課)

“未定”

閉会の辞 福島昭治 (大阪市立大学)